

建築CAD検定試験

准1級・2級・准2級・3級・4級
実施概要のご案内

※4級は高校のみ

建築CAD検定試験とは

本試験は、建築CADの操作技能レベルを特定するため1993年に日本初の建築CADの資格試験として誕生しました。現在、全国の教育機関や建築業界で広く採用され、126,000余名の有資格者が社会の第一線で活躍しています。(2025年12月現在)

試験内容は、CADの経験に加え図面完成までの「スピード」「テクニック」そして「感性」が問われ、実社会での即戦力者として認定される准1級、与えられた条件のもと自らの基礎的な建築知識から建築一般図を完成させる2級、的確なコマンド操作により建築一般図や平面図の部分詳細図を正確にトレースする准2級・3級・4級など、いずれもCADのエキスパートとして認定されます。

全国の試験認定校、770カ所以上

全国の試験認定校は約770カ所あり、所属される学校がこの認定校であれば学校の教室で団体受験として受験できます。また、個人で受験する一般受験もご用意しています。

※受験料(団体)/准1級:15,000円 2級:12,000円 准2級:11,500円
3級:11,000円 4級:3,500円 (一般受験は500円増額になります)

ジュニアマイスター/アグリマイスター顕彰制度の対象資格

本試験は、全国工業高等学校長協会の「ジュニアマイスター」、全国農業高等学校長協会の「アグリマイスター」の両顕彰制度の対象資格です。

※ジュニアマイスター得点 准1級:A(20点) 2級:B(12点) 准2級:C(7点)

3級:D(4点) 4級:E(2点)

※アグリマイスター得点 准1級:A(20点) 2級:C(7点) 3級:D(4点) 4級:F(1点)

准1級試験

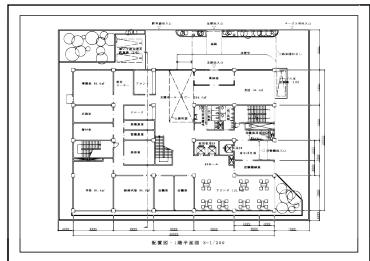
出題内容

課題として与えられた建築図面をもとに、建造物の用途や特性を理解した適切な判断によるトレースを行なってこれを完成させる。試験は実技試験で下記の例に示す建築一般図を4面作成する。

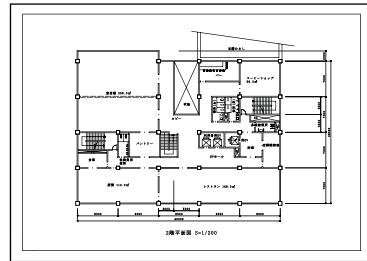
■出題例 (A3サイズ)

<試験時間:4時間10分(CADの設定:10分、課題の読み解き・入力計画:30分、作図3時間30分)>

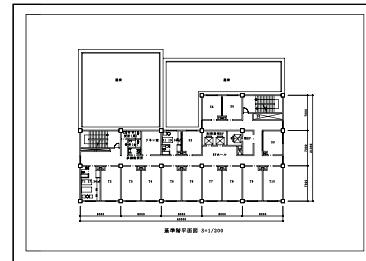
【1階平面詳細図】 S=1/200



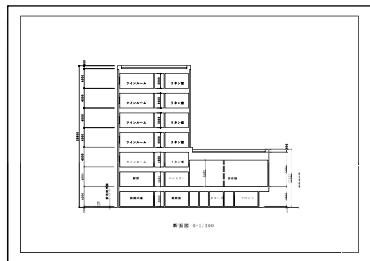
【2階平面図】 S=1/200



【基準階平面図】 S=1/200



【断面図】 S=1/200



POINT

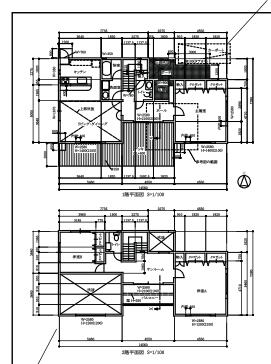
- 試験開始後すぐに10分間のCADシステムの設定時間が与えられます。ショートカットキーの設定や作業効率の高いかつ自らが使用しやすいCAD環境の設定をここで行います。
- CADシステムの設定後、30分間の各課題図面の読み解き・入力計画の時間が与えられます。課題図面は膨大な分量のため、この入力計画の時間は大変重要になります。
- 各課題図面では柱・壁の位置など必要最低限の寸法しか示されませんので、寸法指定のない箇所は受験者の適切な判断にて作図していきます。スケールで読み取っても構いませんが、廊下幅、階段、ドアの開口幅、エレベーター、トイレ設備類、外構図用図形などはその適切なサイズ・規格サイズについて最低限覚えておくことが望ましいでしょう。

2級試験

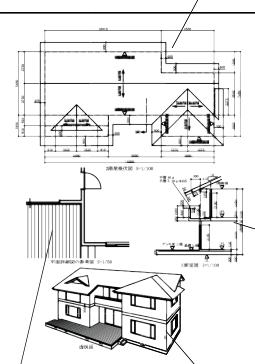
出題内容

自ら持つ建築知識をもとにCADシステムを使って建築図面を作成する実力を備えているかを問う。試験は実技試験で与えられた参考図から一定時間内に下記の例に示す建築一般図を2面(1階平面詳細図・南立面図:S=1/50)作成する。

■参考図 (A4サイズ) 1階平面図 S=1/100 2階屋根伏図 S=1/100



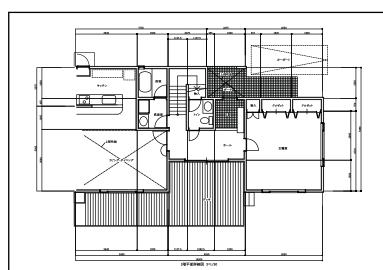
2階平面図 S=1/100



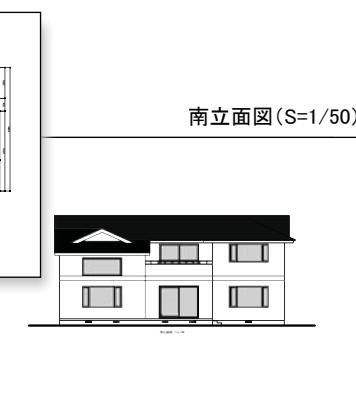
平面詳細図の参考図 S=1/50



◆解答例 (A3サイズ)



1階平面詳細図 (S=1/50)



南立面図 (S=1/50)

POINT

- 問題の「平面詳細図の参考図 S=1/50」では、1階平面詳細図を作成する際の壁やサッシュなどの具体的な表現方法(密度の見本)が示されますので、その表現に習い1階平面図の情報をもとに1階平面詳細図を完成させます。
- 問題の「1階平面図」・「2階平面図」の情報から壁・建具などの位置を、「断面図」からは高さの情報を、「屋根伏図」からは屋根の勾配や形状を読み取ります。そしてこれらの情報を合わせて透視図も参考にしながら南立面図を完成させます。

准2級試験

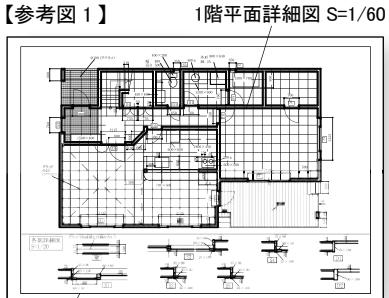
出題内容

建築一般図への理解に加え速さと正確性を持ってトレースする実力を備えているかを問う。試験は実技試験で与えられた参考図と完成図から一定時間内に下記の例に示す2面(1階平面詳細図・南立面図:S=1/50)を作成する。

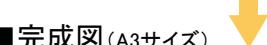
<試験時間:3時間>

■参考図(A4サイズ)

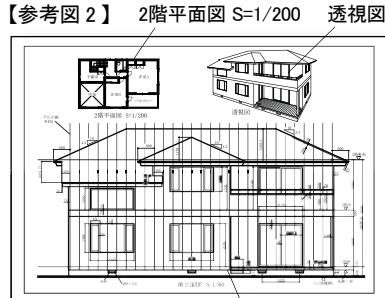
【参考図1】



各部詳細図 S=1/20



【参考図2】



南立面図 S=1/60

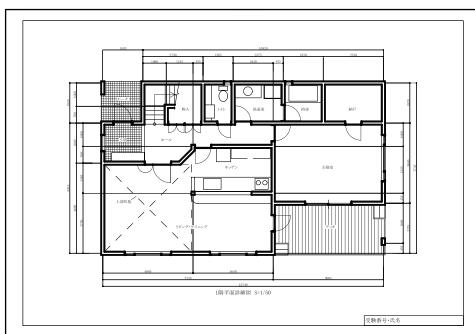


POINT

- 参考図1に記載の「1階平面詳細図」と「各部詳細図」の情報から正確に位置やサイズを読み取り完成図1を作成していきます。また「1階平面詳細図」にはグリッド線が示されるため壁や建具の位置関係も必ずそこから読み取ります。なお、完成図にある室名や文字列、壁の位置を示す寸法は参考図には記載がないため必ず完成図から読み取るようにします。参考図にないからといって描かない減点対象になります。

■完成図(A3サイズ)

【完成図1】



1階平面詳細図 (S=1/50)

【完成図2】



南立面図 (S=1/50)

- 参考図2に記載の「南立面図」、「2階平面図」、「透視図」の情報をもとに完成図2を作成していきます。「南立面図」にはGLを基準とした「高さの情報」や、屋根の勾配・軒の出・ケラバの出寸法などの「屋根の情報」が示されますのでそこから正確に読み取ります。なお、「南立面図」にもグリッド線が示されますので屋根や壁、建具や造作材などの位置も必ずここから正確に読み取り作成していきます。

3・4級試験

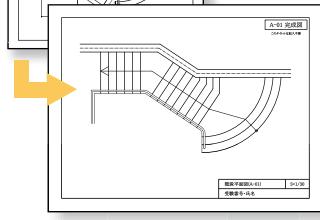
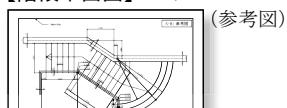
出題内容

与えられた建築図面をCADシステムを使って正しくトレースする実力を備えているかを問う。試験は実技試験で平面図を構成する各要素を取り出して作成した参考図の情報から完成図を一定時間内に作成する。

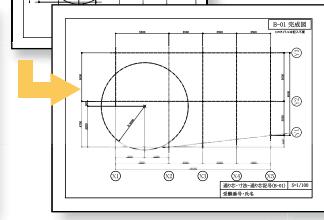
<試験時間:2時間>

■3級出題例(全4題)(A4サイズ)

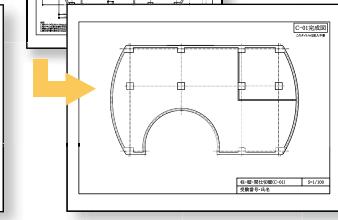
【階段平面図】S=1/30



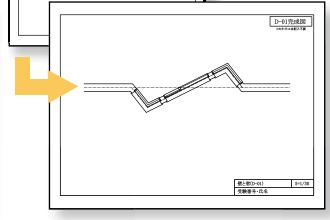
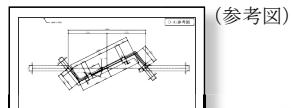
【通り芯・寸法・通り芯記号】S=1/100



【柱・壁・間仕切壁】S=1/100

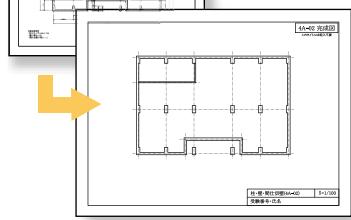


【壁と窓】S=1/30

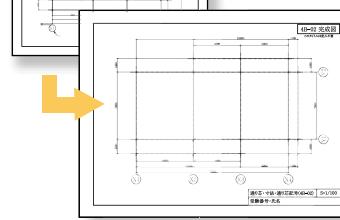


■4級出題例(全3題)(A4サイズ)

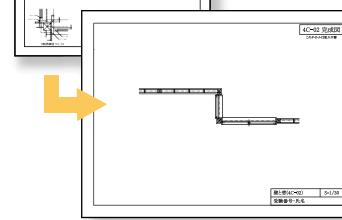
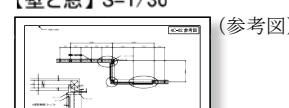
【柱・壁・間仕切壁】S=1/100



【通り芯・寸法・通り芯記号】S=1/100



【壁と窓】S=1/30



POINT

- 3級試験は全4題あり、課題毎に「参考図」と「完成図」が対になっています。受験者は与えられた「参考図」の情報から制限時間内に正確にCADを操作し「完成図」をトレース(完成図と同じ図面を作成)していきます。たとえ図面が完成していてもそれが参考図の指示通りでなければ必ず減点されますので注意が必要です。課題図面には曲線や斜め線が多用されているため様々なコマンドの操作方法を習得していることが求められます。一方、4級試験は「階段平面図」の課題がないため全3題になります。さらに図面のほとんどが直線のため3級試験より易しい内容になっています。